

見ぬま田んぼ

野草スケッチ「イヌビエ」犬稗

分 類：イネ科

花言葉：一



田植え直後頃から水田に発芽し、稲に紛れながら成長して出穂する一年草、最も一般的な水田雑草である。寒冷地の作物でもあり「冷え」から「ヒエ」になったとの説もある。ヒエにはいくつか種類があるが、水田雑草として一般的なものにイヌビエとタイヌビエがある。これらヒエの区分は外観からの判別し難いが、イヌビエは小穂が大きい。※1



※1

☆

「イヌビエ」

世界：	世界の温帯～暖帯
生育地：	日本、水田や湿地 路傍や荒地、河原にも良く生育する
茎 丈：	0.4～0.9m 一年草 直立
葉	10～30cm 線形
花期：	8—10月
花・花色：	小穂小穂
種子：果実	繁殖：種子
特徴：	イネに擬態し、稲作のサイクルに見事に適応した水田雑草である。
由来	役に立たないヒエ
	写真と解説； ※1ヒエ／イヌビエ／タイネビエ（稗、ひえ） 田力 ... 川崎市総合教育センター より 拝借致いたしました 22.6.6